

復旧工事 着々と行われる！

大地震によるご心配をおかけしました。県内外の皆さまより飲料水をはじめ過分の震災お見舞いを頂き感謝致します。お陰さまで復旧工事が出来ました。ご報告がてら厚く御礼申し上げます。 合掌



本堂前、沈下した地盤を整地する。



コンクリート圧送機で生コンを搬入。



天候に恵まれコンクリート無事打設。



例年より遅れて開花のつつじの花の満開に完成！



地蔵堂の倒壊によりお地蔵さまも多数倒れる。



若干、裏山がせり出たことから約50cm程、基礎を前方に打設する。



化粧垂木の仕様により、少々格があがり出来ればが良くなる。



桧材を中心に施工、震災の100日目に完成。



4月11日の地震により本堂向拝の柱、土台の束石から抜け出て倒壊寸前となる。



左官屋さんによる本堂外壁補修工事。



お位牌堂内塗装工事。



位牌の破損が甚しく、一つ一つ点検し金具を交換するなど加藤勝総代が心を込めて修理しました。



本堂・庫院の間、補修工事。



納骨堂内の補修工事。



納骨堂の壁・天井、塗装しきれいになる。



本堂・畳表替完了、7月12日。順次書院、集会所、庫院等合わせて222畳の畳表を新しくする予定。

墓石の倒壊復旧について

墓石、墓誌・トーバ建て等の倒壊は各家の責任にて修理をしていただきます。又、隣家墓石への損壊も同様とします。

原則として石塔を建立された石材店に施工をお願いして下さい。様々の理由によりそれが出来ない場合は長谷寺にご相談下さい。

今後は時間をかけて耐震工法による改修をおすすめいたします。

枠内の墓石は今回の地震でも被害が最小限に納まりました。

平成16年に90区画を造成・分譲した新墓地です。平成17年より石塔は阪神淡路大震災を踏え耐震工法による施工をお願いしてまいりました。その結果、大変大きな効果が発揮されました。



耐震工法にて施工された墓石(赤枠内)